



ふしき みちよ県議

県民の世論と運動で自民党が、「戦争法案推進」の意見書を撤回 「違憲」の戦争法案は廃案に

6月定例会議

改選後初めての6月定例会議は、「戦争法案」の廃案を求める県民世論が広がるなか、6月24日から7月16日までおこなわれました。三日月知事は個人的には集団的自衛権に反対としながら、本会議では、「慎重かつ丁寧に審議されることを望む」にとどまりました。「戦争法案」の「事態対処法」は、集団的自衛権を発動する「存立危機事態」となれば、地方公共団体は、物品、施設または役務の提供を義務付けられることになり、地方自治体にとっても重大問題です。国任せにすることは許されません。

県議会には、戦争法案の廃案を求める請願2件が寄せられました。にもかかわらず、自民党県議団が、全国でも異例の「安全保障法制の今国会の成立を強く求める意見書案」を提案してきました。こんな意見書の提案は、県民世論に挑戦するもので、県民の代表たる県議会の自殺行為といわなければなりません。日本共産党県議団は、いち早く県民のみなさんに知らせてきました。



議会内外で「戦争法案を廃案に。推進する意見書は認められない」と各県議への要請、街頭宣伝行動がおこなわれ、世論が広がり、16日閉会日に、自民党は意見書案をついに撤回しました。何人かの自民党県議は、「(要請の)たくさんファックスをいただきました」と話しています。本会議では多くの傍聴者が見守る中、「平和安全法制の慎重審議を求める意見書」、2件の「廃案を求める請願」はいずれ賛成少数で否決されましたが、「戦争許すな」の県民世論と運動はさらに広がっていくでしょう。戦争法案廃案へ圧倒的多数の世論で安倍政権を包囲しましょう。

会 派 (大津市選挙区内の県議)	共産党	自由民主党				チームしが		良知会	公明党	
主な請願に対する態度 ※ 3つの請願はいずれも賛成少数で不採択になりました。 ○は賛成 ●は反対 /は退席	節木 三千代	佐野 高典	山本 進一	目片 信悟	佐藤 健司	柴田 智恵美	成田 政隆	蔦田 恵子	粉川 清美	中村 才次郎
福井地方裁判所の「再稼働差し止め」決定を尊重し、高浜原発3号機および4号機の再稼働をしないことを求める旨の意見書の提出を求めることについて	○	●	●	●	●	/	○	/	/	/
「集団的自衛権の行使を具体化する安全保障法制案を廃案にすることを求める意見書」の提出を求めることについて	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●
戦争につながる安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択について	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●

みちよの
かけ歩き(記)

民家への銃弾直撃の原因究明と、饗庭野演習場での実弾訓練の中止を

7月28日、陸上自衛隊今津駐屯地、司令・吉川正浩氏宛で「銃弾直撃の原因究明と饗庭野演習場での実弾射撃訓練の中止を求める」要望をおこないました。大門みきし参議院議員秘書、佐藤耕平国民運動部長らも参加。7月16日午後、饗庭野演習場でおこなっていた実弾射撃演習の際に12.7mm重機関銃からの銃弾が民家を直撃しました。中部方面総監部は「不適切な地域に標的を設置した人為的ミス」としていますが、説明を受けた地元の方は、「信用していた自衛隊の玉が飛んできた。簡単にはすまされない。原因がはっきりするまで演習がやめてほしい」と私たちに訴えられました。戦争法案は憲法で禁じた武力行使に道を開く法案です。私は、「武力行使そのものである実弾訓練は中止を」と強く訴えました。(ふしき)



生活相談会をおこなっています。
第1・3の月曜日午後3～5時まで
ふしきみちよ事務所にて 秘密厳守

2015年 7月29日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp
ふしきみちよ公式ホームページ <http://fushiki-michio.jimdo.com/>

ふしきみちよ 検索